

あか 朱き燃え石 走れアルコ22号 時空をこえて

旧宮田町・若宮町の歴史を調べるために、榊原先生、坂上先生に引率され、石炭記念館を見学に来た純とクラスの仲間。そこには当時活躍していたアルコ22号という蒸気機関車が、堂々たる姿で展示されていた。館長さんの話を聞きながら、「アルコ22号は、まだ走りたいのでは？」と考えた純は、朱く燃えさかる石炭をアルコ22号の口に投げ込んでしまう。その時、大きな落雷がアルコ22号を襲う。「走れ！アルコ22号！」大声で叫ぶ純の前で、アルコ22号に新たな生命が吹き込まれる。偶然その場に居合わせた純と同級生のあゆみ、榊原先生と坂上先生、老夫婦の哲夫と郁子が時間の渦に巻き込まれ、純たちの歴史の旅が始まる。竹原古墳、十六羅漢、菊池六朔…。宮田・若宮の歴史を駆けめぐる純たちは、この土地が培ってきたものや、ここに生きてきた人たちからたくさんの事を学ぶ。そして、現代の宮若市で生きる自分たちにとって大切な事に気付きはじめる。純たちにとって大切な事とは…。

純たちは、無事に現代の宮若市へ戻れるのでしょうか？全ての答えは、作品をご覧ください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております！



企画・制作

合併記念イベント実行委員会
宮若市企画財政課
劇団ドリームカンパニー

劇団「宮若レインボーカンパニー」プロフィール

劇団は、平成17年6月に旧宮田町・若宮町から出演者、スタッフ共に一般公募で集まったメンバーで結成しました。小学生から大人まで総勢70人。この劇団が宮田と若宮の架け橋になるようにという願いを込めて「宮若レインボーカンパニー」と名付けました。ミュージカルの出演者には、せりふはもちろん、歌、ダンスなどすべてが要求されます。そのため「劇団ドリームカンパニー」の指導のもと、平成17年9月から舞台に立つまで、心を一つにして練習を重ねてきました。スタッフは、舞台美術、大道具、小道具、衣装、パンフレット、チラシなどを同時進行で制作しました。観客の皆さまに感動を持ち帰っていただけるよう、出演者、市民スタッフ、行政、劇団ドリームカンパニー、支えてくれたすべての人が同じ想いで創ってきました。『輝くふるさと』のテーマ曲にのせて、宮若市の未来を築いていこうとするメンバーの想いをお届けします。